

神の王国の実際の中で生きる

メッセージの主題は、経験の事柄です。今日、わたしたちの生活がどうであるかによって、来たるべき千
年期における生活がどうであるかが決まります。わたしたちは神の王国の実際の中を生活しているでしょ
うか？ 主がわたしたちを訓練し、わたしたちの神の王国の実際に対する認識を拡大し、神の王国の実
際の中で生きることができるようになりますように。

神の王国——神聖な命の領域と神聖な種族の領域

MSG1 アウトライン概要		神の王国——神聖な命の領域と神聖な種族の領域	
I	神聖な命の領域	A-E	命と 王国 (入 る)
		F-J	命の 経験 (発 展)
		K-L	命の 成長 (拡 大)
II	神聖な種族の領域	A-C	神聖な種族の領域へと 入る
		D	神聖な種族の領域の中で 生きる 。

【朝ごとの食物】第1週		神聖な三一、イエスの霊、神の王国		
日	段落	思路	主題	要点
1	神聖な命	王国の 意義	神の王国は神聖な命の領域	主イエスが来たのは、わたしたちが神聖な命を得るためです 神の王国は、神の命で構成された有機体です
2		王国の 入口 命の再生	神の王国へ入る唯一の道は再生	神の王国を見る、あるいは入るために、再生を必要とします わたしたちの霊の中の神聖な命は神の王国を知っています
3		王国の 発展 命の 経験 王国の 拡大 命の 成長	命の感覚を知る	命の感覚の意義と源です 命の感覚は死と命と平安と関係があります
4			命の感覚にしたがう	命の感覚はわたしたちにその領域の中で生活しているかどうか判別させます 神聖な三一の分与の下で通常的生活をする
5			キリストのからだの命を経験し、命の中で成長する	キリストのからだの命を経験する 神聖な命の中で成長する意義
6		神聖な種族	王国に入る 王国を生きる	神の王国は神聖な種族の領域

まとめ	
命の感覚にしたがい、主のかたちに同形化され、神・人の生活をする	
神聖な命	命の感覚にしたがう
神聖な種族	主のかたちに同形化される
神聖な事柄	神・人の生活をする

神の王国——神聖な命の領域と神聖な種族の領域

聖書：ヨハネ 3:5-6, 18:36, 1:12-13, IIペテロ 1:4

神聖な命の領域

I. 神の王国は神聖な命の領域です——ヨハネ 3:3, 5, 15-16, 18:36, 1:12-13 :

A-B: 命

* 神の命が唯一の命、真の命です

A. 新約は、神の命を「その命」、すなわち唯一の命としています。この命は真に命であり、命であると正しく考えることができます——エペソ 4:18。

* 主はわたしたちが命を得るために来られました

B. 主イエスが来たのは、わたしたちが命を得るためです。このために彼はご自身の魂の命を捨てて、彼の内側から神聖な命を解き放ち、そして彼の復活において、神の選ばれ贖われた民の中へと神聖な命を分け与えました——マタイ 16:24-26, ルカ 9:24-25。

C-E: 神の王国(命と王国の関係)

* 神の王国は、神の命で構成された有機体です

C. 神の王国は、神が支配するための領域として、神の命で構成された有機体です。その中で彼はご自身の命によって王として支配し、神聖な命の中で神聖な三一としてのご自身を表現します——ヨハネ 3:5, 15:1-8, 26。

* 神の王国は、神の命の活動の総合計です

D. 神の王国は、命の総合計としてのキリストにある神であり、そのすべての活動を伴っています——11:25, 10:10 後半, 14:6。

* 神の王国へと入る唯一の入口は再生(命としての神を受け入れる)です

E. 神の王国の中へと入る唯一の道は、命としての神を受け入れ、神ご自身を得ることです。これは再生です——3:5, 16, Iヨハネ 5:11-12 :

* 神の王国を見るために、あるいは入るために、神は再生を必要とします

1. 神の王国は、人が入る神聖な領域であり、神聖な命が必要となる領域です。このゆえに、わたしたちが神の王国を見るために、あるいは神の王国の中へと入るために、神は再生を必要とします——ヨハネ 3:3, 5。

2. 再生を通してわたしたちは神聖な命(神の命)を受け入れるので、再生は神の王国の中へと入る唯一の入り口です——3, 5, 15 節。

* わたしたちの霊の中の神聖な命は神の王国を知っています

3. わたしたちは神の王国の中へと生まれたので、今やわたしたちの霊の中の神聖な命は神の王国を知っています——5-6 節。

命の感覚を知る

* 定義： 命の感覚は、わたしたちの内側の神聖な命の感覚、知覚です

F. 命の感覚は、わたしたちの内側の神聖な命の感覚、知覚です——ローマ 8:6, エペソ 4:18-19 :

* 源： 神聖な命、命の法則、聖霊、わたしたちの中に住んでいるキリストです

1. 命の感覚の源は、神聖な命、命の法則、聖霊、わたしたちの中に住んでいるキリスト、わたしたちの内側で活動する神です——ローマ 8:2, 10-11, ペリピ 2:13。

* 感覚の二面： 死の感覚とも、命と平安の感覚とも関係があります

2. 命の感覚は、死の感覚とも、命と平安の感覚とも関係があります——ローマ 8:6, イザヤ 26:3。

命の感覚に従う

* 二つの機能：

天然の命の中か、神聖な命の中か/肉の中か、霊の中に生きているのかを知る

3. 命の感覚は、わたしたちが天然の命の中に生きているのか、あるいは神聖な命の中に生きているのか、またわたしたちが肉の中に生きているのか、あるいは霊の中に生きているのかを知らせます——ローマ 8:6。

* 原則にしたがって：

正しいか間違っているかの原則にしたがって生きるのではなく、命の原則にしたがって生きる

4. わたしたちは接ぎ木された命を生きるとき、正しいか間違っているかの原則にしたがって生きるのではなく、命の原則にしたがって生きるべきです——創 2:9, 16-17, IIコリント 11:2-3。

* 導きにしたがう：

穏やかで、安定した、性急でない生活、神聖な三一の分与の下で通常的生活をする

5. わたしたちは命の感覚に従おうとするなら、穏やかで、安定した、性急でない方法で生き、神聖な分与の中で通常的生活をする必要があります——ヨハネ 14:27. 16:33. Iテサロニケ 5:23. IIテサロニケ 3:16. **イザヤ 30:15**. 32:17。
6. 命の感覚はわたしたちを導き、統治し、制御し、指示します——**ルカ 1:79**. ローマ 3:17. 箴 21:1。

***神聖な命を得る手段:**

御子の中へと信じる。神から生まれることによって、その霊から生まれる。

- G. 信者たちは御子の中へと信じることによって、神聖な命を受け入れます。御子の中に神聖な命があり、彼ご自身が命です。信者たちは神から生まれることによって、その霊から生まれます——ヨハネ 3:6。

***主との有機的な結合の中で命を持つ(キリストの中でのみ命を持つ)**

- H. 信者たちは神から離れて自分自身の中で命を持っているのではなく、主との有機的な結合の中で命を持っています。すなわち、彼らはキリストの中でのみ命を持っています——15:4-5. ローマ 8:2。

***キリストのからだの命**

- I. 信者たちの中の神聖な命は、キリストのからだの命です。ですから、それは個人的な命ではなく、団体的な命、すなわち、からだの命としてのキリストであり、それはからだの中で経験され享受されます——Iコリント 12:26-27. コロサイ 3:4。

***永遠にわたって神の命を経験し享受する**

- J. 信者たちは永遠にわたって神の命を経験し、享受します——啓 22:2。

神聖な命の成長

***命の成長の積極面—神の要素の増し加わり、キリストの身の丈の増し加わり、聖霊の地位の拡張**

- K. 神聖な命において成長することは、神の要素が増し加わること、キリストの身の丈が増し加わること、聖霊が拡張することです——エペソ 4:15-16。

***命の成長の消極面—人の要素が減少し、天然の命が碎かれる**

- L. 神聖な命において成長することは、人の要素が減少すること、天然の命が碎かれること、魂のあらゆる部分が征服されることです——Iペテロ 2:2. IIペテロ 3:18. コロサイ 2:19。

神の王国は神聖な命の領域、神聖な種族の領域

- II. 神の王国は神聖な命の領域、神聖な統治の領域であるだけでなく、神聖な種族の領域でもあります。その中に、すべての神聖なものがあります——ヨハネ 3:3, 5. 18:36:

神聖な種族の領域の中へ入ります

***ヨハネ第3章の神の王国は神の統治以上に、神の種族を指しています、**

- A. ヨハネ第3章において、神の王国は、神の統治を指す以上に、神の種族を指しています。

***人は神となって、神聖な種族の中へと入ります**

- B. 神は人と成って、人の種族の中へと入りました。人は、神格においてではなく、命と性質において神となり、神聖な種族の中へと入ります——ヨハネ 1:1, 12-14. IIペテロ 1:4。

***そのためには、わたしたちは神から生まれて、神聖な命と性質を持つ必要があります**

- C. 神聖な領域、すなわち、神聖な種族の領域の中へと入るために、わたしたちは神から生まれて、神聖な命と性質を持つ必要があります——ヨハネ 1:12-13. 3:3, 5-6. IIペテロ 1:4:

1. **【創造】**神が人を**創造**したのは、人の種類にしたがってではなく、神のかたちに、神の姿にしたがってであり、人を神の種類、神の種族とさせました——創 1:26。

2. **【再生】**信者たちは**再生**によって神から生まれ、神格においてではなく**命と性質において神の子供たち**となっています。彼らは**アダム以上に神の種類です**——ヨハネ 1:12-13:

- a. アダムは神の外側の現れだけを持っていて、内側の実際を持っていませんでした——12-14節。

- b. **【造りかえ、同形化】**わたしたち、キリストにある信者また神の子供たちは、神聖な命の実際を持っており、全存在が**造り変えられて**、主のかたちに**同形化され**つつあります——IIコリント 3:18. ローマ 12:2. 8:29。

- c. わたしたちの第二の誕生、すなわち再生は、わたしたちを神の王国の中へと入らせ、神の種族とさせました——ヨハネ 3:3, 5-6。

- d. 神のすべての子供たちは、神聖な種族の神聖な領域の中にいます——1:12-13. 3:3, 5。

- e. 信者たちは、神聖な種族における、すなわち、神の王国における神・人たちです——Iヨハネ 3:1前半. ヨハネ 1:12-13. 3:3, 5。

神聖な種族の領域の中で生きる

D. ヨハネによる福音書の中でわたしたちは、信者たちが神聖な種族の領域としての神の王国の中で生きることの多くの面を見ます：

【恵みを受ける】

1. 「わたしたちはみな、彼の豊満から、恵みの上にさらに恵みを受けた」——ヨハネ 1:16。

【命の水を飲む】

2. 「わたしが与える水は、その人の内で源泉となり、湧き上がって、永遠の命へと至るのである」——4:14 後半。

【命のパンを食べる】

3. 「わたしを食べる者も、わたしのゆえに生きる」——6:57 後半。

【主の愛の中に住む】

4. 「父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛した。わたしの愛の中に住んでいなさい」——15:9。

【満ちあふれる喜びを持つ】

5. 「これらの事をあなたがたに語ったのは、わたしの喜びがあなたがたの中にあり、あなたがたの喜びが満ちあふれるためである」——11 節。

【真理と光の中を歩む】

6. 「真理を行なう者は光に来る。それは、彼の行ないが、神の中でなされたことが明らかにされるためである」——3:21。

【霊と真実の中で礼拝する】

7. 「真の礼拝者たちが、霊と真実の中で父を礼拝する時が来る。そしてそれは今である。父はどのように彼を礼拝する者を、探し求めておられるからである。神は霊であるから、彼を礼拝する者は、霊と真実の中で礼拝しなければならない」——4:23-24。

【言葉を内住させ、そして祈る】

8. 「あなたがたがわたしの中に住んでおり、わたしの言葉があなたがたの中に住んでいるなら、何でも望むものを求めなさい。そうすれば、それはあなたがたにかなえられる」——15:7。

【三一の神との相互に住みあう】

9. 「その日には、わたしがわたしの父の中におり、あなたがたがわたしの中におり、あなたがたの中におることを、あなたがたは知るであろう」——14:20。

【互いに愛し合う】

10. 「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい」——15:12 前半。